

現代会計研究

担当者 岩崎 勇

開講時期 後期 単 位 2

●講義の概要

現代社会において、多くの企業は企業グループを形成し、グループによってより効率的で、効果的な事業活動を行っている。それゆえ、企業分析を行う時には、その企業の個別財務諸表と同様に、企業グループ全体の経営状況を表す連結財務諸表を分析することが重要となる。また、わが国会計の国際化の観点から統合化を進めている国際財務報告基準（IFRS）においても、個別財務諸表よりも、連結財務諸表の方を重視している。そして、わが国においても、上場会社において連結財務諸表の作成・表示が求められている。このような状況の下において、連結会計の構造と分析をマスターすることは、わが国のこれからの会計環境に適応するために必須である。

●講義の到達目標

国際財務報告基準（IFRS）との統合化を進めているわが国においても、連結会計が会計制度の基盤となっている。本講では、連結会計に関連する理論的な知識と実務的な分析能力を修得する。

●講義計画

- 第1回：連結会計の基礎
- 第2回：連結貸借対照表の構造（1）
- 第3回：連結貸借対照表の構造（2）
- 第4回：連結貸借対照表の分析
- 第5回：連結損益計算書の構造（1）
- 第6回：連結損益計算書の構造（2）
- 第7回：連結損益計算書の分析
- 第8回：持分法会計
- 第9回：連結株主資本等変動計算書の構造と分析
- 第10回：連結キャッシュ・フロー計算書の構造と分析（1）
- 第11回：連結キャッシュ・フロー計算書の構造と分析（2）
- 第12回：税効果会計Ⅰ
- 第13回：税効果会計Ⅱ
- 第14回：課題発表と質疑応答（1）
- 第15回：課題発表と質疑応答（2）

●成績評価基準と方法

出席状況、報告内容及びレポートなどをもとに総合評価する。評点配分は、次の通りである。報告内容50点、レポート50点（合計100点）

（注）出席回数が3分の2以下のときには、D評価とする。

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕岩崎勇著『基本財務会計』税務経理協会

〔参考文献〕授業中に適宜指示する。

●受講上の留意点

積極的に授業に参加して下さい。